

評価の結果、評価に係る宮城県行政評価委員会の意見及び県の対応方針
 政策整理番号 15 高度な産業技術の普及推進

政策体系		県民満足度		評価原素												
政策番号	政策名	満足度(政策)		政策評価シート(A)												
		重視度	満足度	政策評価シート(A)	政策評価シート(A)の内容											
					政策評価シート(B)	政策評価シート(B)の内容										
分野	基本方向	政策	施策番号	施策名		政策評価指標名	指標値達成度	施策の必要性	満足度(施策)	優先度(順位)	優先度(%)	施策・事業展開シート(C)	施策・事業展開シート(C)の内容			
					2-4-4								高度な産業技術の普及推進	重視度 満足度		政策評価シート(A)
1	普及活動を推進する専門的技術者の養成	1位	29.9%	中												
2	普及を推進する施設の整備	3位	15.7%	中												
3	早く確実な技術移転	6位	11.0%	中												
4	技術に関する情報の迅速な提供	4位	13.6%	中												
5	各産業分野の課題やニーズの適切な把握	2位	17.2%	中												
6	産学官連携による技術の普及	先端・基盤技術高度化支援事業における産学連携グループ(研究会等)数	...	5位		11.7%	大	【原関与・事業群設定:適切】本施策での県の役割は、国の支援策等を活用しながら事業を推進し、特に産業技術総合センターにおいては技術面での企業支援、大学等との連携を推進することである。事業は施策目的に沿ったものであり設定は適切である。 【事業群の有効性:有効】施策満足度は59.50と推移しているが、従来から予算を伴わない手法により事業を実施してきた結果でありおおむね有効と言える。なお、政策評価指標「先端・基盤技術高度化支援事業における産学連携グループ(研究会等)数」は新規設定のため有効性の判定ができない。国内では、産業振興の地域間競争が活発になってきており、地域の学術研究機関の技術を企業に普及させることが有効である。 【事業群の効率性:効率的】これまで非予算的に行ってきたことにより潜在的な需要を引き出しており、今回の予算化に伴い効果の発現が期待されることから効率的と言える。 【総括】上記3点を総合的に検証した結果「適切」と判断する。								
							【評価結果から抽出される課題と対応策】 政策評価指標の目標値を達成するために、今後重点的に事業実施していく必要がある。 効率性は、事業を行っていないため評価はできないが、妥当性、有効性については、政策目標、施策目標に合致した事業を実施するものであり、今後重点的に事業実施していく必要がある。 【施策・事業の方向性】 高度な技術の普及拡大のため、さらに事業を拡大すべきである。									

評価の結果、評価に係る宮城県行政評価委員会の意見及び県の対応方針
 政策整理番号 15 高度な産業技術の普及推進

行政評価委員会政策評価部会の意見	県の対応方針	評価結果
政策評価	政策評価	政策評価
施策評価	施策評価	施策評価
-		
-		
-		
-		
-		
-		
-		